

## ①財産目録

財産目録は、「貸借対照表の明細」に相当するもので、貸借対照表に記載された資産や負債の内容を、わかりやすく説明したものになります。したがって、各勘定科目の金額は、貸借対照表の金額と整合していなければなりません。

### ■財産目録の例

平成○年度「特定非営利活動に係る事業会計」財産目録		平成×年3月31日現在	
特定非営利活動法人 未来の名古屋を育む会		(単位:円)	
科目・摘要	金額	金額	金額
<b>I. 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金			
現金手許有高	281,500		
未収入金			
セミナー参加料(6件)	3,000		
流動資産合計		284,500	
<b>2 固定資産</b>			
什器備品			
デスクトップPC(Mec Rabu265)	70,000		
固定資産合計		70,000	
資産合計			354,500
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
短期借入金			
理事1名より	70,000		
未払金			
3月分事務局給与	20,000		
3月分電気料金	3,000		
前受金			
平成×年度会費	5,000		
流動負債合計		98,000	
<b>2 固定負債</b>			
固定負債合計	0	0	
負債合計			98,000
正味財産合計			256,500

現預金や固定資産だけでなく、未収入金や借入金、未払金などの内容も記載する

各項目の金額は、貸借対照表と必ず一致する

「負債合計」と「正味財産合計」を足すと、「資産合計」と一致する

定款に「その他の事業」の記載がある場合には、貸借対照表や活動計算書と同様に、金額がゼロでもその他の事業の財産目録を作成することが原則です（ただし、所轄庁によって取り扱いが異なる場合があります）。

